

## 第2回 東京シニアビジネスグランプリ

# FINAL

ファイナル

始まる、55歳からの起業

厳しい審査を勝ち抜いた

ファイナリスト10名によるプレゼンテーション

## 01 金融商品を販売しないライフプランコンサルティング

竹下 佳孝 さん

### ■ プラン内容

老後資金に不安を抱える高齢者をターゲットにして、不採算不動産投資を勧誘したり、不適切な保険販売や高額手数料の金融商品を販売したりしている企業が後を絶ちません。当社は金融商品の販売を一切行わず、顧客視点での提案が可能です。顧客のファイナンシャルリテラシーの向上を支援し、最小リスクで成果が得られる資産づくりをお手伝いします。人生100年時代を経済的、精神的に豊かに過ごせる人が溢れる社会作りに貢献します。

### ■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

日本の多くの企業は満60歳前後での役職定年と大幅年収ダウンを機械的に行っています。今までのキャリアを十分活かさない仕事に会社人生の最後の時間を空費するのは無駄だと思い、企業でなく、社会に貢献できる仕事はないかと考えました。老後の生活設計は多くの人にとって不安材料となっており、自分自身のために学んできた事を同じ悩みを持つ人達にシェアすることで社会貢献できるのではないかと思い立ち、起業を決断しました。

Profile



大卒後、某大手食品メーカーに勤務。主にマーケティングを担当して満60歳で定年退職。  
58歳から学習し、宅地建物取引士、賃貸不動産経営管理士、1級FP技能士を取得。  
60歳でFPの国際ライセンスCFP®に認定。  
2020年12月から現職。

## 02 もっと身近に楽しく統計リテラシー拡大事業

鈴木 桜子 さん

### ■ プラン内容

“数学=サイエンス共通言語”+“統計学=現代の必須リテラシー”を女性中心に広め、市民の統計・数学素養の底上げをすることにより社会の安定化に貢献する；を経営理念とし、教材企画・制作・授業までワンストップで行う数学教育事業。事業は①数学指導（個人授業・出張講座）、②オリジナル教材企画・制作（数学専門編集プロダクション）からなり、独学のハードルが高い数学・統計リテラシーを身近に楽しく身に付ける機会を提供する。

### ■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

若い頃から自分にしか出来ないことをしたいという想いがあった。50歳でキャリアとスキルの棚卸をする機会が訪れ、専門性・教材執筆スキル・教育経験を生かした事業を始めようと思いつく。心理面含め準備が整ったのが55歳であってシニア起業という意識はないが、シニアの方々が「自分も出来そう!」と元気が出るような、年齢・健康を考慮した継続可能な形で社会貢献できる身の丈に合う事業スタイルを提案したい。

Profile



予備校・大学・社会人と幅広い25年の教育経験と、出版社で培った編集スキルを持つ女性数学講師。理学博士（数学）。著書4冊。  
研究者にあらず俗にあらずを信条とし、硬い&難解なイメージの数学・統計を楽しく分かりやすく正しく伝えることを得意とする。





## 03 新規書類管理システム

小野 実さん

### ■ プラン内容

商品は新規クリアホルダーである。A4書類を収納したままパイプファイルの綴じ具に一切触れることなく瞬時に抜き差しが出来る。書類収納後は収納口をロックし、書類を収納した状態でカバンに入れて出かけたり、そのまま会議に持ち出したり出来る。パイプファイルへの抜き差しが「瞬時」であるため、書類の管理、整理、取り扱いが「超絶便利」になる。本品の製造及び販売を行う。

### ■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

私は10年前、世界初の抜き差し自在ファイルを発明し、某社から商品化されました。この時は自分の発明が商品になるだけで満足でしたが、再びやってきた商品化のチャンスに今度は、商品化、販売まで全部自分でやってみたくなりました。その位、この商品に魅力を感じるからです。この「超絶便利商品」を自ら世界に発信していきたいのです。

#### Profile



1941年生まれの80歳。大手化学メーカー定年退職後10年間、中小企業4社で商品開発のお手伝いをする。

気がつけば特許出願のベテランになり、70歳頃から自分の発明の特許出願し、商品化するようになる。発明以外の趣味は、ゴルフと音楽（楽器演奏）。

## 04 水銀フリーによるオゾン濃度測定装置

菅野 裕靖さん

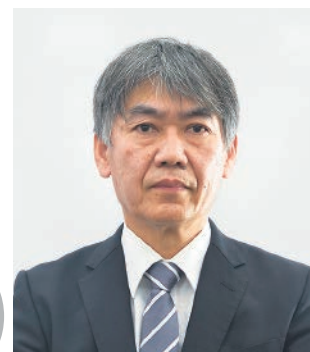
### ■ プラン内容

現在市場で使用されているオゾン濃度測定には有害な水銀ランプが使用されている。水銀は人への毒性が強く、植物連鎖による野生生物への影響も指摘されていることから水銀を国際的に適正管理する為の条約が平成29年（2017年）8月16日に水俣条約として発効され締結された。本ビジネスプランは、水俣条約履行の為に水銀フリーを実現したLED式オゾン濃度測定装置を市場に提供する事である。

### ■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

当社は、前身の有限会社光電鍍工業所（昭和27年設立、電気めっき業）の経営者の死去に伴い、菅野裕靖氏が引き継いだ上で同社を清算し設立された。東京の地場産業はめっき業と言われた昭和初期の頃、東京には約3000社のめっき業者があったが現在は約280社と1/10以下となっている。全身の有限会社光電鍍工業所に於いて電気めっき業に関して強い危機意識を持ち、10年前から自社製品開発を進めてきていた。

#### Profile



1984年 日本大学理工学部卒業  
同年三菱電機株式会社入社  
1988年 常務取締役商品事業本部長  
表彰  
1991年 有限会社光電鍍工業所入社  
2010年 応用物理学会発表 長崎大  
2015年 応用物理学会発表 東海大  
2019年 光テック株式会社代表取締役

## 05 人の繋がりや思い出を地図に残すアプリ事業

塚田 勝之 さん

### ■ プラン内容

KIZUMA（絆マップ）というスマホ用のアプリを開発し、SNSとして発展させます。人の繋がりはビジネスであれ生活であれ重要な基盤です。その前提にある自分の原点・足跡を地図にマッピングし可視化。その時々時間に時間を共有した人と情報を共有する事でそれぞれの人が何を感じていたのか、そこから関係を構築できるアプリです。

### ■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

ずっと大企業に居りましたので、起業はずっと意識していましたが日常の仕事、まわりの人々の意識として会社には一生いるものということに流されながら過ごしてきました。アメリカに留学している時に起業を強く意識し帰国後、計画を立てましたが納得感を持たず、会社を辞めて自分を追い込んでしまえと思いスタートしました。シニアからというより自分のタイミングがあるのだと思います。

Profile



大手IT企業等にて事業開発、M&Aに携わる。実行実務を積上げ事業化、M&Aの責任者を歴任。スタンフォード大CIFE、APARC、CDR各研究所研究員として国際プロジェクト組成、ロボット会社経営を経て起業。シリコンバレーを中心とするパートナーネットワークによって事業化を促進。同志社大卒。スタンフォード大MMS。

## 06 NFTと虹彩アート活用のバーチャル墓地

柿田 京子 さん

### ■ プラン内容

少子高齢化・一局集中で墓じまいが増える昨今、お墓をめぐる社会問題にアート思考で寄り添い、伝統を守りながら、利便性と経済性を備えた偲びのかたちを提案。願いをこめた「虹彩アート」をバーチャル空間に。死後のみならず、限りある時間をより良く生きる大切さにも光をあてる。NFTを用い、未来の人々へ生きる希望を届ける仕組みも。「墓」の概念を超え、時間・空間を超え、人の想いを届けるサービスがここに結実しました。

### ■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

仕事経験もあり、育児も終え、体力に遜色ない今は、人生で最も輝ける時期です。より良い未来を創るため、私たちも社会変革の最前線に立つことが必要。定年など、企業がつくったルールやイメージに囚われることなく、自身の可能性にとことん挑戦したいと思いました。湧き出すアイデアを事業にし、リスクテイクしながら社会に新しい価値を創出していく冒険は、旅路で多くの出会いと学びがあり、やめられません。

Profile



テキサス大学、アクセンチュア、ドコモを経て、ゴーンの日産再生を人事変革で支える。新サービス・新市場の開拓、経営変革で活躍。創造的変革力とグローバル経営力が強み。東京藝大DOORプロジェクト修了後、「藝術の力を社会へ」を理念としたeach tone設立。



## 07 地域密着型賃貸入居者向けコールセンター

小寺 英志 さん

### ■ プラン内容

地域密着型の仲介兼業の管理会社が管理する賃貸物件を対象として、賃貸入居者からの電話を受電して管理会社に要望を伝えるコールセンター。一般的な受電～修繕手配に留まらず、例えば「入居者への注意喚起のための掲示物の掲示」、や、「自転車置き場の整理」などの現地対応が必要な案件に関して地域に居住する主婦や、ギグワーカーを活用し直接対応して管理会社の常態的な業務過多をバックオフィスとしてサポートする。

### ■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

これまでの自身の管理会社勤務の経験から、賃貸物件の入居者からの要望事項の受付と現地対応に手間がかかること、また対応の遅れがフレーム拡大につながることを実感しており、管理会社が必ずぶつかるこの課題の解決を起業という枠の中で考えたかった。また、人生100年時代に、いきいきと働く喜びを感じながらシニア世代を生きていくには、起業が最も適していると考えた。

Profile



現役管理会社社員。新卒入社時より賃貸管理業務を中心に担当。30代後半からの約10年間、企業広報・IR業務担当を経験したのち、現在は顧客対応専門部署の責任者として業務にあたる。

## 08 日仏間研修コーディネーター事業

市橋 尚子 さん

### ■ プラン内容

調理・製菓教育分野に特化した日仏間研修の企画立案、各種コーディネーターおよびコンサルティング事業です。日本からフランス、フランスから日本への個人留学のサポートや、学校や企業の現地研修、日仏の学校提携プログラムのコーディネーターを行っています。日仏間の新しい見習い研修交換プログラムの具体化も進めています。目指すのは、食、ホスピタリティ分野で活躍する人の人生の原動力になるような異文化体験の提供です。

### ■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

これまでに培った日仏の調理・製菓学校、業界団体とのつながりを基盤として、私にできることは何かをずっと考えてきました。そして、料理人を目指す日仏の学生に、あらたな挑戦をしたい料理人に、国境を越えて異国の食文化を実際に体験して欲しいという思いから起業を決意しました。学校機関という軸を通して挑戦の機会を創設し、その体験を支えて新しい活躍に繋げることが、私の残りの人生のライフワークだと考えています。

Profile



在仏21年の間に飲食業界のミッションに多く携わり、日仏の調理製菓学校の提携、交換研修を実現。4年前に帰国し、東京でエコール・デュカスの営業として個人留学や各種研修をコーディネート。エージェント契約をきっかけに起業し現在に至る。



## 09 AIを用いた企業の健康診断プラットフォームの構築

藤田 正典 さん

### ■ プラン内容

本事業は、中小企業やスタートアップ企業を支援する経営コンサルタントに対し、人事、生産・販売、経理、ITなどの経営監査やMVPやPMFなどのスタートアップノウハウに基づく経営事項について診断し、RPA（業務の自動処理）による経営診断結果や、AI（人工知能）による経営強化情報などを提供するプラットフォームです。経営コンサルタントを、単純な報告書作成業務から解放し、クライアント固有の経営課題解決への注力を可能にします。

### ■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

もともと起業家志向で、就職後も社内起業活動などをしてきました。一方で、イノベーションの実現能力が弱体化している日本の活力を取り戻すため、起業家を支援する仕組み造りの必要性も強く感じておりました。家族の生活を支えるなかで、退職して起業に踏み切る決心ができませんでしたが、養育などの責任を果たしてシニアとなり、これまでやりたかった、そしてやらねばならないと思っていたことを、実行する時が来たと思いました。

Profile



大学卒業後、総合商社で複数のベンチャー企業を立ち上げる。社会人学生として、経営学修士、情報システム修士、技術経営修士、及び工学博士の学位を取得。技術経営・スタートアップ経営などが専門で、複数大学の教員・研究員や学会の理事なども務める。

## 10 高齢母にトキメキを届ける装い&ラボ事業

深津 チヅ子 さん

### ■ プラン内容

「もう一度高齢母を輝かせたい」をコンセプトにアパレルとユーザーコミュニティを運用する「高齢母の幸せを考えるブランド」を展開。アパレルでは、80~90代の高齢女性をターゲットに快適な着心地とファッションとしての美しさを両立させた独自設計の服をOEM生産する。コミュニティは高齢母を持つケアラーたちの「集いの場」と位置づけ、課題共有すると共に商品のアイデア出しを依頼、商品開発へとつなげユーザー参加型ブランドとして成長させる。

### ■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

高齢母の洋服探しに困り果てたのが始まりだった。装いたい心を残したまま体型と身体機能が変化した母は新しい服を求めた。が、望むような品をなかなか用意できず切ない思いを繰り返す中、課題解決には高齢女性のニーズを熟知する自分の手で服を作るしかないと起業を決意。ただ売るだけでなく、服を届けるケアラー自身が笑顔でいることが真の母へのギフトになると考え、コミュニティを「ラボ」と呼び、運営することにした。

Profile



雑誌ライター。一方で、岐阜県の高齢者住宅に入居する母の遠距離介護を始めて9年目の現役ケアラーでもある。母を見守る中でいくつもの「困り事」と「高齢女性の心理」に触れ、限りある母の時間を豊かに彩る服が必要と痛感し事業を立ち上げる。



基調講演

55歳からの幸せな独立戦略

前川 孝雄氏

株式会社FeelWorks 代表取締役

Takao Maekawa



1966年兵庫県明石市生まれ。大阪府立大学、早稲田大学ビジネススクール卒業。(株)リクルートで「リクナビ」「ケイコとマナブ」「就職ジャーナル」などの編集長を経て、2008年に人材育成の専門家集団(株)FeelWorks設立。「日本の上司を元気にする」をビジョンに掲げ、「上司力研修」「50代からの働き方研修」、eラーニング「パワハラ予防講座」「新入社員のたらく心得」などで400社以上を支援。講師・コンサルタントとしてのセカンドキャリアを考えるミドル向けに「働きがいを育む講師養成講座」も開講。自らも「上司力」提唱者として、講演・連載等多数。2011年から青山学院大学兼任講師。2017年に(株)働きがい創造研究所設立。IU 情報経営イノベーション専門職大学客員教授、(一社)企業研究会研究協力委員、(一社)ウーマンエンパワー協会理事なども兼職。

審査員  
Profile

審査項目

- 1 経営理念・ビジョンの明確さ
- 2 ビジネスモデルの実現性・収益性
- 3 市場の理解度
- 4 計画の妥当性
- 5 プレゼンテーション力

Shigeo Kagami



審査委員長

各務 茂夫氏

東京大学 大学院工学系研究科 教授/産学協創推進本部 副本部長/日本ベンチャー学会 会長

一橋大学卒、スイスIMD経営学修士、米国ケースウェスタンリザーブ大学経営学博士。ポストコンサルティンググループを経て、コーポレートディレクション(CDI)の設立に参画。2004年東京大学産学連携本部 教授就任以来、大学発ベンチャー支援、アントレプレナーシップ教育等に取り組む。

Yuki Takahashi



高橋 ゆき氏

株式会社ベアーズ 取締役副社長

家事代行サービスを中心に「暮らしの困ったを解決する」株式会社ベアーズの取締役副社長。自身の原体験をもとに「産業をつくる」と夫婦で創業。社内では主にブランディング、マーケティング、アライアンス、DX推進担当役員。経営者と家事研究家のふたつの顔で講演、執筆、メディアでも幅広く活躍中。

Satomi Yamaguchi



山口 里美氏

株式会社グランサクシード 代表取締役

行政書士法人みらいリレーション代表社員、一般社団法人日本リレーションサポート協会代表理事、グランサクシードグループ代表。1997年司法書士事務所、1999年行政書士事務所開業。資格者法人の経営に取り組みながら「人と事業のリレーション」に特化したシニアのためのサロン運営、応援事業を展開。年間講演は70回以上、著書・監修書は14冊。やまがた特命観光・つや姫大使。

Nobuhisa Iida



飯田 展久氏

日本経済新聞社 執行役員  
デジタル事業デジタル編成ユニット長

1987年日本経済新聞社入社。1999年~2002年インドネシア・ジャカルタ支局長。2014年編集局次長兼企業報道部長。2015年~2017年日経ビジネス(日経BP)編集長。2017年~2019年アジア編集総局長(タイ・バンコク駐在)。2019年からデジタル編成ユニット長として「日経電子版」事業に携わる。2020年3月から現職。

Kanae Fujimi



藤見 佳奈枝氏

株式会社日本政策金融公庫 国民生活事業  
東京創業支援センター 所長

入庫以来、大手町支店(現東京支店)、名古屋支店、本店創業支援部にて数多くの創業融資に携わる。その後、堺支店の融資課長を務め、地域の民間金融機関や支援機関と連携した協調融資等に取り組む。2021年3月、東京創業支援センター所長に就任。創業者向けのセミナーの企画・開催、シニア起業家やベンチャー企業への資金調達支援等を担当している。

第2回 東京シニアビジネスグランプリ

# FINAL

ファイナル

## 次 第

### 【第1部：決勝大会】

- 13:30 オープニング  
13:35 審査員紹介  
13:40 ファイナリスト紹介  
ファイナリストプレゼンテーション (前半)  
14:40 (休憩)  
14:50 ファイナリストプレゼンテーション (後半)  
15:50 (休憩)

### 【第2部：講演・表彰式】

- 16:00 講演「55歳からの幸せな独立戦略」  
株式会社FeelWorks 代表取締役 前川 孝雄 氏  
17:00 (休憩)  
17:10 表彰式  
17:25 審査員講評  
17:30 エンディング

## 後援 (順不同)

独立行政法人中小企業基盤整備機構、東京商工会議所、東京信用保証協会、  
一般社団法人東京都中小企業診断士協会、東京都立産業技術大学院大学、  
株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ、株式会社きらぼし銀行、朝日信用金庫、西武信用金庫、  
昭和信用金庫、城北信用金庫、多摩信用金庫、株式会社日本政策金融公庫、東京中小企業投資育成株式会社

## 問い合わせ先

公益財団法人東京都中小企業振興公社 事業戦略部創業支援課  
TEL : 03- 5220-1141 E-mail: 55plus-startups@tokyo-kosha.or.jp